

令和7年度 事業計画（案）

事業計画立案に当たって

本年度はいずみ会創立80周年の年を迎え、財政の立て直しと若年層会員へのいずみ会活動の積極的PRを進めていきます。財政立て直し策として、収入面からは会費制度の見直し、支出面からは今まで当たり前となっていた支出項目の見直しを通じて年度収支の改善を進めていきます。また、いずみ会活動の活性化に向けて、情報発信の中心であるホームページの改修を行います。若年層の会員に対して、31歳（64期）以上60歳（35期）未満の会員については10年の節目ごとの同期会開催を促し、30歳（65期）以下の会員は附属中学卒業生を含む世代であり、「20歳を祝う集い」をスタートに評議員を中心とした縦の交流を進めていきます。

第1. 定時評議員会

令和7年5月25日（日）YRイベントホールで定時評議員会と懇親会を開催する。

第2. 理事会、監査会等の活動

1. 原則として理事会は毎月の開催、監査会は年2回開催とする。
2. 評議員会出欠に対する返信状況を把握し、返信のない評議員の更なる見直しを図る。
3. 評議員が選出されていない期に対して積極的にアプローチする。
4. 議案書はHPに掲載し、評議員の方には原則メールで配信するがメール配信できない方には紙面で郵送する。

第3. 活性化に向けての取り組み

1. 一般会員からの情報収集、フィードバック体制の構築を図る。
2. 「20歳を祝う集い（対象76期）」の開催を支援すると同時に、中高一貫世代（68期以降）に向けて、積極的な交流を促す。
3. 30歳、40歳、50歳、60歳、65歳になる年をきっかけに同期会開催を促すと同時に、総会を集いの場として利用する事をPRする。

第4. 会報発行、広報活動の充実

1. 会報69号は令和7年10月1日の発行を目標とし、昨年同様に普通郵便で発送する。
2. ホームページはスマホ対応等若い世代にも受け入れられように再構築を行う。
3. 会報、ホームページへの投稿・寄稿を会員に促進し、情報収集による内容の充実を図る。

第5. 総会及びホームカミングデー

1. 総会は、令和7年11月1日（土）に創立80周年記念総会として開催する。
2. 創立80周年記念行事として母校緑化を目的とした「グリーンプロジェクト」（仮称）を立ち上げる。
3. 総会開催前に行っていたホームカミングデーに代わる在校生との交流は文化祭を通じて行う事とし、多くの会員に文化祭への来場を呼び掛ける。

第6. 財政管理

1. 会報発送費削減のため、会費納入実績に応じた限定発送を継続する。
2. 年間会費額の見直しを含めた健全な財政態勢の構築を検討する。
3. いずみ会室の利用率の低下、施設の老朽化を加味して本年度での賃貸契約を解消する。
4. 会費納入方式（現金振り込み以外）を検討し、若い世代が支払い易い方式の導入の可能性を探る。

第7. 会員情報の整備

1. 会員情報の整備に向けて、会員情報部幹事の連携を強め活発な活動を促進する。
2. 高校78期生の個人データを追加して、会員情報を更新する。

第8. 母校及びPTAとの連携

1. 母校の発展に寄与するため、学校からの要請に迅速に対応し教育・部活動を支援する。
2. 文化祭等様々な学校行事の場を通して、在校生や保護者にいずみ会への理解を広めていく。

第9. 人材バンク活動

1. 人材バンクへの登録を積極的に推進し、人材情報の発掘・充実を図る。
2. 母校職業講話への講師派遣に加えて、会員向けに講話等の情報交換の場を提供する。

第10. 役員改選の準備

令和8年度の改選に向けての準備を行う。